



# ベント・ジョイント工法

バイコン台付管は、ボックスカルバートに対して安価な部材ですが、曲がり部や点検口には現場打ち柵や高価なプレキャスト角型マンホールを使用することが前提となっています。「ベント・ジョイント工法」では、今まで対応が出来なかった、台付管による屈曲部及び点検口の対応が出来るようになりました。



## 特長

1. ベント・ジョイント工法により、高価な角型マンホールが不要となり、安価なバイコン台付管のメリットを生かし屈曲部及び点検口の対応が可能です。
2. ベント・ジョイント柵、端面板、台付管 部材が全てプレキャストのため施工性に優れます。
3. 水路線形の角度は、ベント・ジョイント柵の斜切加工で対応可能です。ベント・ジョイント柵を組み合わせることで 90° の曲げも可能です。
4. ベント・ジョイント柵に対して、管渠を垂直に挿入できるため柵の適切なサイズ設定ができます。最小スペースでの施工が可能です。
5. 台付管との取付箇所については、TB 工法（耐震性接着継手工法）により耐震性能が付与されるため、下水渠工事にも使用できます。
6. ベント・ジョイント工法は、特許工法です。特許番号：6774104

L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

ボックスカルバート

バイコン台付管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

貯留システム

石材

付録

① 下水道用管渠・箱渠の曲がり部・点検口の問題を解決しました。

従来は、バイコン台付管やヒューム管は、ボックスカルバートに比べ安価な部材ですが曲がり部・点検口を設けるため現場打ち柵や高価な角型マンホールを使用する前提となっていました。

**BENT・JOINT 工法 (ベント・ジョイント) は！**

- 曲がり部と点検口を同時に設置可能！
- 全てプレキャストでの施工が可能！

- ・施工性のアップ！
- ・工期短縮（現場打ち・脱型の手間なし）
- ・大幅な工事費削減\*

※ボックスカルバートに比べ台付管は経済的に有利なため、トータルの工事費も削減が可能です。

ベント・ジョイント柵

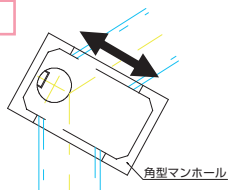
台付管



端面板

② BOX に対して管渠や函渠を垂直に挿入することが出来ます。

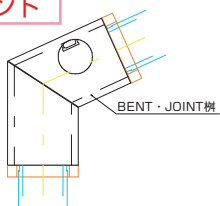
角型マンホール



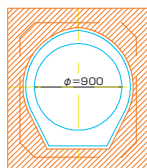
開口幅が広くなるためサイズも大きくなり、更  
に角型マンホールに対して斜めに管が入るため  
接続に手間がかかる・・・

↓ 施工性の改善

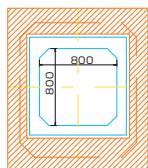
ベント・ジョイント



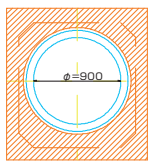
水路線形の角度はベント・ジョイント柵の斜  
切加工で対応可能！  
そのため、水路線形がどんな角度でも柵に対  
して、垂直に接続することができます。



台付管



BOXカルバート



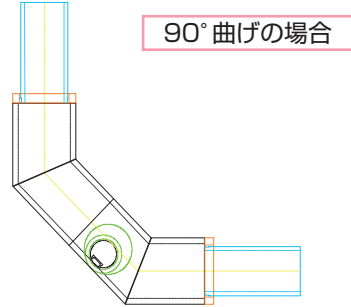
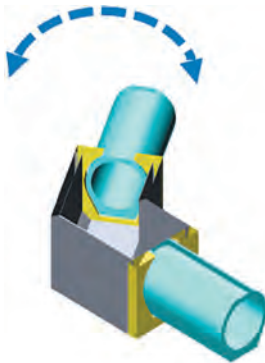
ヒューム管

柵に対して垂直に接続する  
ため、台付管以外の流入・  
流出管でも、ベント・ジョ  
イント柵のサイズを調整す  
ることで対応可能！

③規定内の角度で自由に曲げ角度を設定できます。

⇒ベント・ジョイント桝の斜切加工可能な範囲まで、角度をつけることができます。

※ ベント・ジョイント桝を組み合わせることで、90°の曲げも可能です。



※耐震接続が必要な場合、「TB 工法」での施工も可能です。

流入・流出管と端面板、ベント・ジョイント桝と端面板の接続は、「TB 工法」による接続が可能で「耐震性能」の確保もできます。



TB コーキング工法

- ・TB 工法は技術審査証明を取得しており、耐震レベル 2 でも安全性が証明されています。
- ・国土交通省の新技術情報提供システム (NETIS) にも登録済。

「NETIS 掲載期間終了技術：KK-070004-VE」



先端建設技術センター  
技術審査証明書



ベント・ジョイント桝内、台付管TBコーキング接続

L型擁壁  
擁壁  
のり面  
張出製品  
河川製品  
ため池  
カルバート  
バイパス管  
マンホール  
側溝  
道路製品  
水路製品  
貯留システム  
石材  
付録